

青森県におけるオウトウ品種‘紅真珠’の特性

福田典明・久保隆・深澤(赤田)朝子*・鈴木佳奈子**・内藤誠**

青森県りんご試験場県南果樹研究センター・

*青森県グリーンバイオセンター・**三戸地域農業改良普及センター

Characteristics of Sweet Cherry Cultivar 'Benisinju' in Aomori Prefecture

Noriaki FUKUDA, Takashi KUBO, Tomoko FUKASAWA-AKADA*,

Kanako SUZUKI** and Makoto NAITO**

Kennan Fruit Tree Research Center, Aomori Apple Experiment Station,

*Aomori Green Bio Center and **Sannohe Regional Agricultural Extension Service Center

1 はじめに

現在、青森県におけるオウトウの品種は食味、収益性に優れた‘佐藤錦’が栽培面積の約50%を占め、収穫と選果の作業が短期間に集中している。観光農園を営んでいる生産者にとっては、収穫期の拡大、特にその前進化が望まれており、そのため、良食味で豊産性な早生品種の登場が期待されている。

2 試験方法

火山灰性黒ボク土壌である当センター圃場(三戸郡五戸町)のアオバザクラ台‘紅真珠’(1994年に1年生苗定植)を、1999年及び2000年は2樹、2001年は1樹供試した。雨よけは2000年及び2001年に着色始期から行った。開花期間は1999年、2000年及び2001年に‘紅真珠’、‘佐藤錦’及び‘香夏錦’を調査した。交雑和合性は、稚葉から抽出したDNAの自家不和合性(S) RNase遺伝子型に基づいて判定し、‘南陽’及び有望品種とされる‘紅さやか’と‘紅秀峰’については、交雑試験も加えて検討した。

果実品質は各年とも適期に収穫した30果について、1果重、果形、Brix. 及び滴定酸度を調査した。樹勢、花芽の多少、生産力、果肉色及び裂果性は育成系統適応性検定試験・特性検定試験のオウトウ調査方法Ⅱに従い調査した。また、食味は2001年に当センター及び三戸地域農業改良普及センターの職員47名(男性21名、女性26名)を対象に外観の良否、果汁の多少、肉質や果皮の歯ざわりや好みの好き嫌い、甘味と酸味の多少について、各自の好みを5段階評価によるアンケートで実施した。

‘紅真珠’の日持ち性は2000年6月26日に収穫した果実30果、2001年6月22日及び25日に収穫した果実80果を供試し、常温での腐敗、裂果、うるみ及び果梗の萎凋等から販売が可能な果実の割合を調査した。

3 試験結果及び考察

開花日は‘佐藤錦’及び‘香夏錦’より遅い5月3日、

満開日は‘佐藤錦’及び‘香夏錦’より遅い5月6日であった(表1)。S因子による遺伝子型は S_3S_6 で、交雑和合性をみると‘ナポレオン’、‘北光’、‘高砂’、‘紅さやか’、‘香夏錦’及び‘紅秀峰’とは和合性で、‘佐藤錦’、‘南陽’及び‘Jのしずく’とは不和合と判定された(表2)。交雑試験による結実率は‘南陽’×‘紅真珠’は0%、‘紅真珠’×‘紅秀峰’及び‘紅さやか’×‘紅真珠’は約50%と高く、S因子による結果と一致した(表3)。

収穫盛期は‘香夏錦’と同等、‘佐藤錦’より3日早い6月24日であった(表4)。1果重は‘香夏錦’及び‘佐藤錦’よりやや大きい約7gで、果形は短心臓であった。Brix. は約20%で‘佐藤錦’及び‘香夏錦’よりいずれも高く、滴定酸度は約0.6%で‘佐藤錦’より高く、‘香夏錦’より低かった。

樹勢は中で、花芽の多少は多、生産力は1樹当たり収量が7年生時で約13kgであった(表5)。果皮色は赤(帯赤黄斑)、果肉色はクリーム、果肉硬度は軟、裂果性は微であった。

食味アンケートの結果、総合評価では全体の88%が‘紅真珠’を「好き」又は「やや好き」と回答した(図1)。

室温における日持ち性は2000年及び2001年とも、収穫5日目の商品果率は60%程度で、‘佐藤錦’の約90%より劣った(図2)。

4 まとめ

現在、収益性の高い‘佐藤錦’の栽培面積が多いため収穫・選果作業が短期間に集中している。そのため、早生の品種を導入することで収穫・選果作業の分散化が期待できる。

‘紅真珠’は収穫日が‘佐藤錦’より3日程度早く、労働力の適正配分が可能になり得る。特に観光農園ではオウトウ収穫の会期が早められる。また、食味アンケートの結果においても総合評価が高かった。

‘紅真珠’は(S) RNase遺伝子型による判定では‘佐藤錦’と交雑不和合であった。

表1 '紅真珠'の開花期間及び収穫日

年度	品種	開花日 (月日)	満開日 (月日)	落花期 (月日)	収穫日 (月日)
1999	紅真珠	5. 3	5. 6	5. 12	6. 25
	佐藤錦	5. 1	5. 4	5. 12	6. 25
	香夏錦	4. 28	5. 1	5. 7	6. 22
2000	紅真珠	5. 8	5. 10	5. 16	6. 23
	佐藤錦	5. 8	5. 10	5. 16	6. 30
	香夏錦	5. 7	5. 10	5. 14	6. 26
2001	紅真珠	4. 28	5. 3	5. 11	6. 25
	佐藤錦	4. 27	4. 29	5. 12	6. 27
	香夏錦	4. 25	4. 28	5. 9	6. 25
平均	紅真珠	5. 3	5. 6	5. 13	6. 24
	佐藤錦	5. 2	5. 4	5. 13	6. 27
	香夏錦	4. 30	5. 3	5. 10	6. 24

表2 '紅真珠'との交雑和合性

品 種 名	S遺伝子型	和合性
紅 真 珠	S ₃ S ₆	×
ナポレオン	S ₃ S ₄	○
北 光	S ₁ S ₆	○
高 砂	S ₁ S ₆	○
紅 さ や か	S ₁ S ₆	○
香 夏 錦	S ₄ S ₆	○
紅 秀 峰	S ₄ S ₆	○
佐 藤 錦	S ₃ S ₆	×
南 陽	S ₃ S ₆	×
Jのしずく	S ₃ S ₆	×

表3 交雑組み合わせと結実率

交雑組み合わせ	交配花数	結実率 (%)
南 陽 × 紅真珠	90	0.0
紅 真 珠 × 紅秀峰	67	49.3
紅 さ や か × 紅真珠	90	47.8

表4 '紅真珠'の果実品質

年度	品 種	調査日 (月日)	1果重 (g)	Brix. (%)	滴定酸度 (g/100 ml)
1999	紅真珠	6. 25	7. 1	19. 6	0. 69
	佐藤錦	6. 25	6. 2	17. 2	0. 56
	香夏錦	6. 22	6. 0	16. 0	0. 65
2000	紅真珠	6. 23	5. 7	20. 5	0. 62
	佐藤錦	6. 30	5. 3	18. 7	0. 49
	香夏錦	6. 26	6. 4	17. 3	0. 84
2001	紅真珠	6. 25	7. 7	18. 4	0. 54
	佐藤錦	6. 27	5. 9	15. 2	0. 48
	香夏錦	6. 25	6. 3	15. 7	0. 97
平均	紅真珠	6. 24	6. 8	19. 5	0. 62
	佐藤錦	6. 27	5. 8	17. 0	0. 51
	香夏錦	6. 24	6. 2	16. 3	0. 82

注) 滴定酸度: リンゴ酸換算

表5 '紅真珠'の特性

項 目	樹 勢	花芽の 多少	生産力 (kg)	果皮色	果肉色	果 肉 硬 度	裂果性
調査結果	中	多	12.6	赤	クリーム	軟	微

注1) 生産力は7年生樹の1樹当たり収量

2) 裂果性は雨よけ施設あり

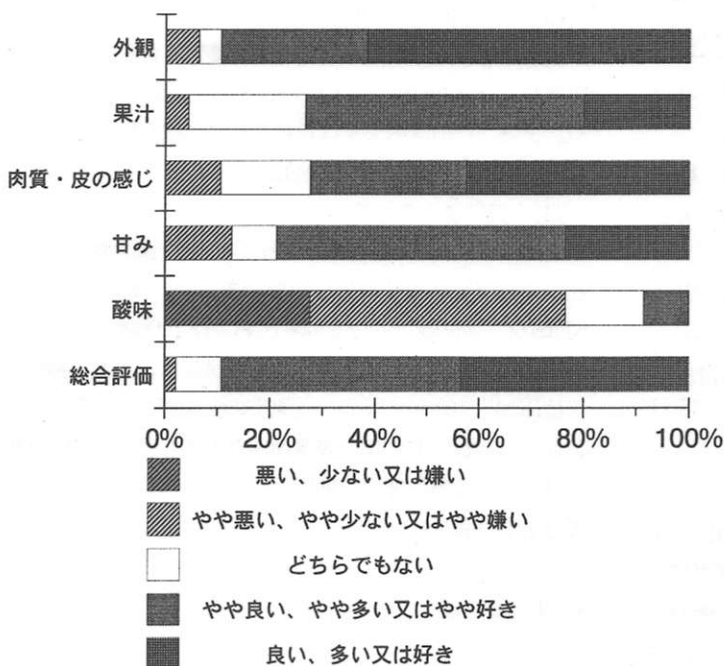


図1 '紅真珠'の食味アンケートの結果

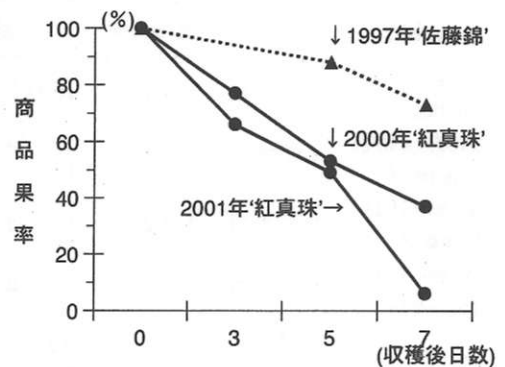


図2 '紅真珠'の商品果率の推移

注) 収穫後に常温で保持